

追跡取材レポート
私たち見学してきました!

新潟大学教育学部附属長岡中学校
社会創造科の取組



ごみステーションで収集したプラスチック容器包装材はその後、市内西陵町にある「環境資源開発㈱」で選別、圧縮、梱包されてリサイクル工場へ引き渡されます。



“プラスチック容器包装材”のリサイクルの流れ



ごみのゆくえ

“プラスチック容器包装材”のゆくえが見学できます。

個人でも団体でもOKです。お申し込みは、**環境資源開発㈱** 電話:21-5525 へどうぞ

1 ごみ収集車が環境資源開発㈱に到着し、プラスチック容器包装材が空けられます。



5 市外のリサイクル工場へ引き渡され、再びプラスチック製品(ベンチ、園芸用プランター、車止め、擬木、杭など)の原料や、工業用の燃料油などにリサイクルされます。



2 ベルトコンベヤーに乗せ、選別作業をする場所に送ります。



～見学をした私たちの感想～

見学の際、「絶対にプラスチック容器包装材ではない」と分かる危険物などが、想像以上にたくさんあると感じました。「どうせ誰かが捨てたか分からないんだから…」という考えをせず、責任をもって出してほしいと強く思いました。

市民一人ひとりの分別に対する意識を高め、実行していけば、長岡をもっと循環型社会に近づけられるのではないかと思います。



3 手作業で金属類や食べ残しなど、プラスチック容器包装材でないものを取り除きます。



多くの手間をかけて処理されているんだな～

ダメ! 危険なので入れないで! 実際に次の物が入っていました。異物は、作業員が手作業で取り除いていますので、これらを含んでいると大変危険です!



ライター(有害危険物です)



スプレー缶(有害危険物です)

4 1m四方の立方体に圧縮して梱包されます。一日40梱包、12～13トンできます。



環境資源開発㈱での処理はここまで。その後は、市外のリサイクル工場へ運ばれて…



電池(有害危険物です)



刃物(燃やさないごみです)

